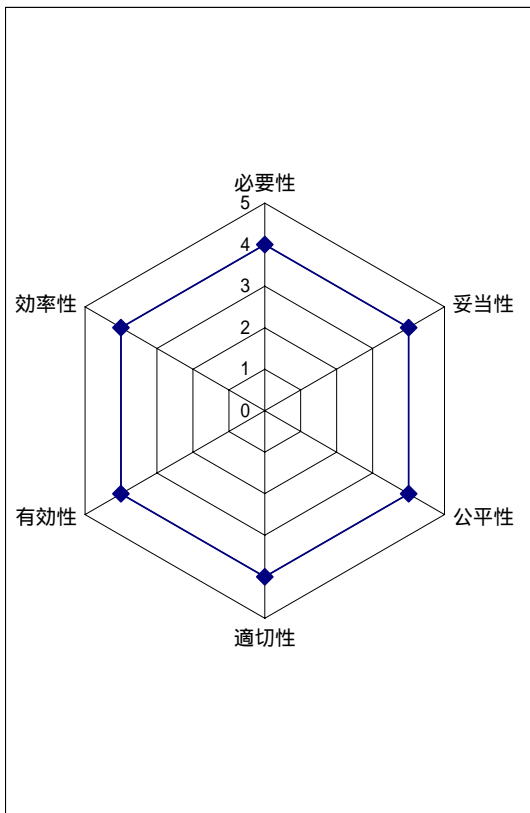


事務事業名	逆井・四ツ京地区調整池整備事業	担当部局	市長部局 都市建設部
基本目標	美しいゆとりある快適環境と景観づくり(環境・都市基盤)	担当課名	区画整理課
施策体系	安全で快適な暮らしづくり(住環境整備)	担当係名	工務係
施策	土地区画整理事業を進める		

1. 事業内容

事業本来の目的と具体的内容	逆井・四ツ京土地区画整理事業地内の雨水排水の流入に伴う流末河川の氾濫・災害防止のため調整池を整備する。		
事業の期間(開始/終了)	平成6年 12月/	平成24年 3月	
根拠法令、条例、規則など	土地区画整理法 河川法		
事業が対象としている人(モノ)	整備対象面積 A=6.6ha		
具体的な活動内容	事業実施計画の調査検討を行なう。		
事業の成果	事業実施計画・目標等が具体化された。		

2. 事業の評価



項目	説明
必要性	4 依然、必要性が高い 区画整理事業に伴う雨水流末については、事業の進捗により早急な整備が必要である。
妥当性	4 法的な問題などがあり、行政が行うべき事業である 区画整理事業に関連した事業で本来は開発者が負担すべき事業であると思われるが、本市の場合、区画整理事業に伴う雨水流末排水整備については、災害防止という観点から公共性が高いという判断で市が負担する方針で進めてきたものである。
公平性	4 目的とした対象者に対しては、概ね広く便益を提供している 逆井・四ツ京地区の区画整理事業に伴う雨水流末整備事業であるが、災害防止という目的から公共性が高い。
適切性	4 現在のやり方(手段)が一般的であり、特に問題はない 本事業に要する経費は巨額であり、財政的に対応困難な状況である。今後、起債・補助事業で対応できないか検討を要する。
有効性	4 概ね目標水準に達している 区画整理の進展に伴い雨水流末災害が発生しており早急な事業化が必要である。
効率性	4 効率は徐々に高まっている(コストは徐々に下げられている) なるべく少ない事業費で施工できる工法を検討し、経費の縮減に努める。

総合評価	事業の緊急性から早急な事業実施が必要である。
------	------------------------

3. 今後の事業の方向性

所属長判断	事業の方向性判断	短期的方向	拡充(人・モノ・カネ等の拡充)	中長期的方向	拡充(人・モノ・カネ等の拡充)
	説明	事業の緊急性から、関係機関との協議調整を行ない、早期事業化ができるよう取り組むこととする。			
決定権者判断	決定内容	拡充(人・モノ・カネ等の拡充)			
	説明	本事業については、区画整理事業の今後の成否に係わる重要課題であるので、事業化に向けての計画準備に取り組むこととする。			